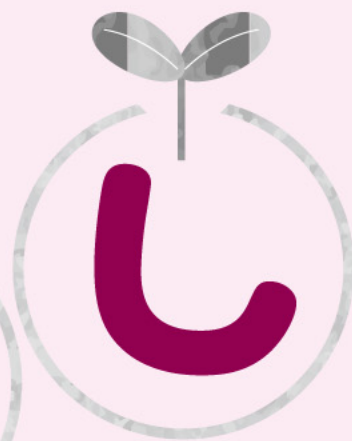


JA 広報



主な話題

JA 青年部さつまいも収穫体験
東関内公共牧場・登別市公共育成牧場下牧
種子ばれいしょ選別・袋詰め
年金友の会パークゴルフ閉幕戦 その他

11 月号
NO.637



TOPICS

今月の表紙……

青年部では食育活動として昨年からさつまいもの収穫体験を実施しています。試験圃として栽培を始め、色々な形で活用したいと考え、企画しました。農業の楽しさや魅力を伝えられるよう貢献していきたいと思ひます。

JA青年部

■ さつまいも収穫体験

10月13日(火)、伊達市農協青年部では、伊達市立東小学校2年生の児童と「さつまいも収穫体験」を実施しました。

児童51名と青年部員6名が参加し、部員らは児童たちに優しく指導しながら、約100㎡の圃場から「べにあずま」約240kgを収穫しました。

JAの青年部事務局がさつまいもの特長や生育の流れ、掘り方を説明した後、51名が一斉に収穫を始め、大きなさつまいもを掘った児童たちの笑顔と喜びの声で溢れました。

収穫体験後には、東小学校の児童らより、青年部への感謝状が贈られました。感謝状はくみあいマーケット本店に掲示しています。

青年部は今年度、べにあずまとシルクスweetの2品種を100株ずつ栽培し、品質、収量ともに昨年より20%程度向上しました。小学生の収穫体験の他に、17日(土)には、青年部後継者対策事業でもさつまいも等の収穫体験を実施しました。

青年部長の坂元博行さんは、「いろいろな形でさつまいもの試験栽培が活用され、青年部事業の活性化に繋がってきている。今後もどんどん事業を拡大できるように部員一丸となり尽力したい」と意気込んでいました。



収穫のようす



収穫方法を説明する青年部員

■ 伊達産野菜の無料配布

10月17日(土)、JA伊達市女性部、青年部と地域貢献委員会では、くみあいマーケット本店にて第5回伊達産野菜の無料配布を行いました。

5回目となった伊達産野菜の無料配布は先着300名にブロッコリーやカボチャ、チンゲン菜、ピーマン、きゅうりなど15品目の旬な野菜が揃い、女性部、青年部の部員が丹精込めて生産した野菜を提供しました。

回数を重ねることにより多くの消費者の方々にご来店いただき新鮮な伊達産野菜を配ることが出来ました。



配布のようす

■ 東関内公共牧場 ・ 登別市公共育成牧場下牧

10月21日(水)～23日(金)の3日間にわたり東関内公共牧場で育成牛の下牧作業が行われました。下牧されたホルスタイン、アングラブラウンスイスの乳用牛130頭は生産者のもとへ戻った後に分娩し、搾乳・繁殖牛になります。黒毛和種の肉用牛30頭は、繁殖牛・肉用になり、販売されます。

また、10月20日(火)には登別市公共育成牧場でも下牧作業が行われ、6月に預けられた牛たちが登別市の生産者の元へと戻っていきます。畜産課西村職員は「生産者の力になれるよう尽力していきたい」と目を輝かせていました。



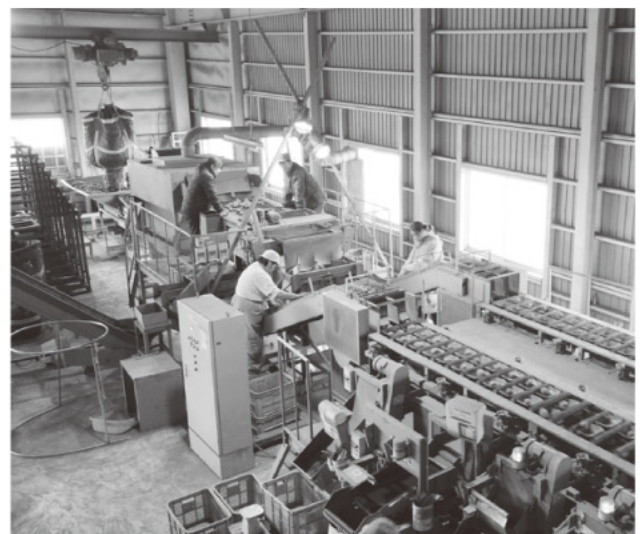
放牧が終わり集められた牛

■ 種子ばれいしょ選別・袋詰め

10月13日(火)～23日(金)にわたり、伊達市馬鈴薯採種組合(荒慎一組合長)は種子馬鈴薯の選別・袋詰め作業を実施しました。

種子馬鈴薯の生産者は稀府地区の4名で、生産面積は約4.8ha、生産量は約151トンとなりました。生産された馬鈴薯は加工用品種のトヨシロ・ワセシロと生食用品種のキタアカリの3品種で、当JA生産資材課や馬鈴薯部会、その他各業者へと販売され全道各地へ出荷されます。

農産係は「種子馬鈴薯の面積維持や、馬鈴薯部会や取引先の要望に応じた優良な種子生産をしていきたい。」と意欲を高めていました。



選果場のようす



■ パークゴルフ 閉幕戦

10月10日(土)、伊達市関内パークゴルフ場にて令和2年度 JA 伊達市年金友の会パークゴルフ閉幕戦が開催されました。

今年度の最終戦は涼しい秋晴れのスポーツ日和で参加した方々が楽しくプレーしました。

また、結果は以下の通りとなっています。



元気にプレーするようす

男性の部

- 1位 篠原 裕治
- 2位 澁木 国嘉
- 3位 丹野 征之
- 4位 佐藤 繁
- 5位 伊藤 文夫

女性の部

- 1位 北藤 洋子
- 2位 篠原ミヤ子
- 3位 伊藤 喜枝
- 4位 長谷川貞子
- 5位 関根 美幸

ブービー賞

- 男性 堀籠 次男
- 女性 東海林綾子

伊達市土づくり推進協議会より重要なお知らせ

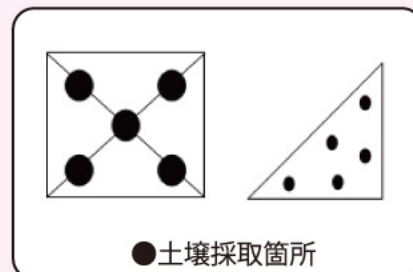
伊達市土づくり推進協議会では伊達市、室蘭市、登別市の正組合員の方を対象に土壌分析を行っています。水田、野菜、畑作、飼料作物など栽培されている方は作物の生育状況に関わらず、土壌分析を実施することを推奨しています。また、各事業の対象の方や“YES!Clean”、GAPなどの対象作物を栽培されている方は必ず実施してください。土壌分析は作物生産の“基礎”です。

○ 土壌分析方法

- ① 圃場から土壌5か所各20センチ分200g採取する。
- ② 5点の土壌を1つにして混ぜて1検体とする。
(合計1,000g)
- ③ 2日間乾燥させる。
- ④ 袋に入れ、JA本所営農指導課へ持ち込む。
- ⑤ 2週間～4週間(冬期間は6週間程度)で結果が出ます。

※分析に関わる内容詳細は受付時に確認いたします。

※土壌採取については露地、ハウス同様ですが特に生育の悪い箇所は別の検体としてください。



○ 分析金額 (円)

区分	分析依頼場所				協議会補助額
	洞爺湖町		ホクレン		
	基本分析	基本分析+熱抽出窒素	基本分析	基本分析+微量要素	
伊達市	2,000	2,500	2,200	2,750	1,000
室蘭市・登別市					500

◆お問い合わせ…営農指導課 農業振興係 TEL:23-2181



9月28日、JR札幌駅にて「フラワーキャンペーン～道産花き日常生活にプラス1～」を開催いたしました。本キャンペーンは、北海道経済連合会とJAグループ北海道の主催で、新型コロナウイルスの感染拡大により需要が落ち込んでいる北海道産花きの需要を喚起することを目的として、お越しいただいた道民の皆さまに北海道産の花1,000束を無料配布いたしました。小野寺会長(JA北海道中央会)、真弓会長(北海道経済連合会)に加え、北海道のご協力のもと、鈴木知事にも応援に駆けつけていただき、1,000束の花全てを配布することができました。

皆さまも是非、ご家庭で北海道産の花を飾っていただくとともに、大切な人への贈り物などでも道産の花を取り入れて、花のある、そして華のある日常生活を楽しんでください。

JAグループ北海道は、「AGRI ACTION! HOKKAIDO」(アグリアクション北海道)の一環として、今後も北海道産花きの消費拡大に取り組み、花き生産者を含む全道の生産者を応援していきます。



JA北海道信連



8月25日、バイオマスリサーチ株式会社(本社:帯広市)と北海道信連、農林中央金庫は酪農・畜産業へのバイオガスプラント普及に向けた連携協定を締結しました。3者が連携することにより、プロジェクトチームの組成、事業性評価とファイナンスメニューの構築に取り組み、ふん尿処理にかかる営農課題解決に加え、循環型で持続的な営農体系の確立と、エネルギーの地域循環の実現を目指してまいります。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。

街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に活動しております。

今年度も札幌地区では9月23日に共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全運転を呼びかけました。



ホクレン



ホクレンは、「ホクレン大収穫祭」の一環として、北海道米「ゆめぴりか」計4tと、北海道産馬鈴しょ、玉ねぎそれぞれ計500kgを、札幌市内の児童福祉施設10カ所に寄贈しました。寄贈は今年で36回目。

今年は新型コロナウイルスの影響で、札幌三越での会場販売が取り止めとなったことから、ホクレンの篠原末治会長が札幌市役所を訪れ、町田隆敏副市長に目録を手渡しました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。10月発刊の秋号においてはプレゼント付アンケートのコーナーもございます。

是非JA北海道厚生連のホームページをご覧くださいアンケートへのご協力をお願い致します。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業



耕と、大地と地域の未来。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>



北海道
農業協同組合中央会
代表理事会長
小野寺 俊 幸

■ 農協法公布記念日にあたっての組合員

・ 役職員へのメッセージ

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で73年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

年は新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが、世界的に感染拡大しており、こうしたコロナ禍において、道民に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者（生活者）の関係のあり方を見つめ直していただくため、「AGRIACTION!HOKKAIDO（アグリアクションホッカイドウ）」と題した取り組みをJAグループ北海道が一丸となって行っています。

「AGRIACTION!HOKKAIDO」は、主に次の3つをテーマとした行動であり、まず一つは日頃、北海道産農畜産物を食べていただいている感謝をしっかりと伝えること、次に食料自給率の重要性に関する理解促進と具体的な行動変容を求めること、最後により多くの方に気軽に農業に接する機会を増やしてもらう（パラレルノーカー）ための国民に向けた情報発信であり、第29回JA北海道大会で決議いたしました「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」と「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」、「次代につなげる協同組合の価値と実践」の一環として、しっかりと取り組んで参ります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



JAの家庭雑誌

あなたの元気がわたしの元気

家の光

お申し込み受付中

- 普通月号
税込 **629** 円
- 付録月号
（家計簿付12月号）
税込 **1,027** 円
- 付録月号
（1・4・5・7・9月号）
税込 **922** 円

農と食の総合雑誌

地上

GOOD EARTH

お申し込みはJAへ

- 定価(税込み) / 普通月号
…… **618** 円
- 付録付号(4・11月号)
…… **680** 円

2020 JA伊達市農業機械フェア

令和2年11月21日(土) 10:00~15:00

話題のスマート農業がやってくる!

新型トラクターや作業機はもちろんのこと
農業散布用ドローンやアシストスーツなど!

詳細は別紙折込をご覧ください!



伊達市農業青色申告会会員へのお知らせ

《税務講習会》

令和2年11月18日(水) ① 10時~ ② 13時30分~

令和3年1月15日(金) ① 10時~ ② 13時30分~

※場所 JA伊達市本所 2階 会議室

※講師 税理士法人松井一晃事務所 土田 昌司 氏



グリーンセンターより営業時間変更についてのお知らせ

【組合員並びにお客様へ】

日頃より資材店舗のご利用誠にありがとうございます。棚卸の為、営業時間を変更させていただきますので、ご理解とご協力よろしくお願い致します。

令和2年11月30日(月) 営業時間：13:00~17:00まで

◎お問い合わせ

JA伊達市グリーンセンター TEL: 23-6115 FAX: 23-0922

JA伊達市の公式



フェイスブック

Facebook



インスタグラム

Instagram



JA.DATESHI.HOKKAIDO

農業・地域に係る様々な情報を発信していきますのでよろしくお願いいたします!

(担当: 営農指導課)



令和
の
地
産
の
編
整

▶第7回理事会…令和2年10月29日(木)

- 第1号 クミカン供給限度額及び貸越極度額の変更について
- 第2号 マネー・ロンダリング等への対応に関する規程の一部変更について
- 第3号 クレジットカード払取扱い範囲に係る規程の新設について
- 第4号 第2・四半期監事監査結果について
- 第5号 第2・四半期監事監査回答(案)について
- 第6号 株式会社伊達観光物産公社株の譲渡について

農産係よりお知らせ

《麦乾施設精米業務のお知らせ》

精米業務は日曜・祝日は休業させていただきます。また、土曜は精米業務を承っておりますので何卒、ご理解お願いいたします。



- ※問合せ先
…… 生産販売課農産係
- ※麦乾施設
…… TEL:23-2458

未来を変える。 みんなで作る。

国営緊急農地再編整備事業 「伊達地区」 Vol.38

～中央要請活動を行いました～

9月中に農林水産省から財務省に提出された令和3年度予算概算要求において、国営緊急農地再編整備事業「伊達地区」が新規事業着手地区として掲載されました。

これを受けて、10月27日に期成会長をはじめ役員1名、市長、JA伊達市組合長、事務局で上京し、令和3年度予算計上に向けた、道内選出の国会議員や農林水産省、国土交通省、財務省への要請活動を行いました。

今回の要請活動では、地元である北海道9区選出の堀井学衆議院議員に同行いただき、関係省庁を訪問。伊達地区の農業のさらなる発展のために、早期事業着手の必要性について強く訴えてきました。このまま順調に進み、来年度着手となれば、事業期間が14年間、受益面積1,281ha、総事業費230億円(予定)という大きな事業がスタートします。少ない費用負担で農地整備等ができる国営事業は、伊達地区にとって大きなチャンスとなります。



- ◆問い合わせ先
伊達地区国営緊急農地再編整備事業
促進期成会事務局
(伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内)
TEL0142-82-3201(直通)



スマホアプリ『JAコネクト』

JAからの情報配信手段として、スマホやタブレットのアプリに配信する「JAコネクト」を導入いたしましたのでご案内いたします。

※ご利用希望の方は、別紙「JAコネクト利用申込書」に記入し提出願います。

お問い合わせ先：総務課 管理係 担当 高橋
TEL：23-2181



iPhone用



google用

発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL0142-23-2181
E-mail kouhou@ja-datashi.or.jp http://www.ja-datashi.or.jp



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

